

いの流水俳壇

「当季雑詠」

刈谷 志津選

特選

風死してパソコンキーのタッチ音

竹崎たかひろ

(評)はつとする季語「風死す」は、夏の盛りにまつた風が止み、耐えられない暑さを覚える状態を言う言葉。今まで聞こえていた風音が止んで、机上には作者であろう流暢にたたくパソコンキーのタッチ音がリズムよく響く。パソコン操作に集中する姿勢は真剣で美しい。また「風死す」の静に対して、「タッチ音」の動とのコントラストも見事。

何となく何時となく吹く風は秋

田薦てい子

(評)「何となく何時となく」これは同じ言葉を使い返す「リフレイン」の表現で、秋風をいかにも秋風らしく表現している。今年も温暖化のため暑い夏となった。早く涼しい秋風を待つ。やがて、どことなく目には見えないが、涼しく軽い風音に秋を感じ、ほっと一息つくと同時に、どこかに秋という一抹の淋しさもある。

現し世は線香花火今日を生く

有安ひで子

(評)「現し世」この世は、まさに「線香花火」とは言い得て妙。誰もが思うことではないだろうか。先日我が家にも、子どもや孫たちが来て、庭で線香花火をした。パチパチと可愛らしい閃光に、なつかしい昭和の昔を楽しんだ。しかし、この世は楽しい事ばかりではない。花火も一瞬煌めいてはすぐに消える。長い人生には浮き沈みはつきもの。それを乗り越え、今日も元気に生き、さらに明日へと生きていく。

入選

サイダーにこの青き空泡となる

大川 節弥

(評)サイダーを冷やしてグラスに注ぐと、白い気泡が立ち上がり、夏の暑い青空までが、涼しい泡になったと言う。気泡にある不思議な力、「空が泡になる」と言ったところがユニークである。

望郷の浜辺に今も浜おもと

津田 久美

(評)誰にもある故郷。時に触れ折に触れ思いを馳せる。作者の故郷は多分海辺にあり、その浜辺には今も白い綿のような花、浜木綿(浜おもと)が咲いている。いつまでも変わらぬ故郷に安らぐ。

空青く向日葵咲いて診療所

石原 静

(評)真夏の向日葵は青い空がよく似合う花。咲いている場所は近くにある診療所の庭で、毎日通院して来る患者の一人ひとりに、元氣と氣力と明るさを与えている。向日葵の果たす役目は大きい。いつまでも咲いていてほしい。

佳作

片陰に入りて話のお弾む

川村 博子

かなかなの声透き通る山の朝

緋縮縮枝先重し百日紅

田を渡る風に激しや蟬時雨

梅雨明けを言祝ぐ如く青い空

子らの声なきふる里の蟬時雨

朝早くにぎやかになり夏休

湯上がりのビール一杯喉沁みる

青天や戸を締切りて暑さ言う

山峡に汗拭いつ車椅子

朝六時南瓜の花を付けに行き

過去といふ歴史に刻む原爆忌

咲きつづく長き生命よ百日紅

木々揺らし夕立激し風を呼ぶ

久々の四方十の結はがめおり

片岡 包女

森岡 照月

小野川町子

国田 貞子

津田 久美

竹崎たかひろ

石原 静

次題「いの大国様吟行句」「当季雑詠」
締切/毎月1日

投句先 教育委員会事務局
いの町1700-1 ☎893-1922

健康的な生活へGO!!

元気でいきいき暮らしたい〜の

No.30

ほけん福祉課 ☎893-3811

平成27年度のいの町の特健診受診率は40.7% (速報値) となり、平成26年度の34.8%から大幅に上昇し、自分の健康に関心を持つ人が増えてきています。

また、いの町独自で行っている30歳代健診は、平成26年度の49人から、平成27年度では137人と91人も受診者が増えています。

そこで… もっと自分の健康、
「食事」「からだ」「こころ」に
関心を持つひとを増やしていきましょう!



11月20日(日)に「健康まつり」を開催します!

今年は「健康と運動」がテーマ。健康づくりが「楽しめる」イベントが満載!
高知家健康パスポートもGETできます。
詳しくは広報11月号折込チラシを要チェック!

でも、自分の健康に関心を持つことが大切だと分かっていても、なにかから始めればよいか分からないんです。



そんなあなたに朗報!



今年も皆さんの健康づくりをお手伝いします!
是非来てね☆